○ 招 集 告 示

坂戸・鶴ヶ島消防組合告示第11号

平成28年11月11日第4回坂戸・鶴ヶ島消防組合議会定例会を坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部に招集する。

平成28年10月21日

坂戸・鶴ヶ島消防組合管理者 石 川 清

○ 会 期

平成28年11月11日 1日間

○ 応 招 ・ 不 応 招 議 員

応招議員(8名)

1番 弓 削 勇 人

2番 高 橋 劍 二

3番 内 野 嘉 広

4番 猪 俣 直 行

5番 野 沢 聖 子

6番 松 尾 孝 彦

7番 平 瀬 敬 久

8番 加 藤 則 夫

不応招議員(なし)

平成28年第4回坂戸・鶴ヶ島消防組合議会定例会

○議事日程(第1号) 平成28年11月11日

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 諸報告

専決処分の報告について(報告第1号)

現金出納検査の結果について(監査報告第4号)

閉会中の事務調査結果について

日程第4 議案第19号 平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第5 議案第20号 坂戸・鶴ヶ島消防組合監査委員の選任について

日程第6 議案第21号 平成28年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計補正予算(第1号)を定める件

日程第7 一般質問

午前10時00分開会

出席議員(8名)

1番 弓 削 勇 人

3番 内 野 嘉 広

5番 野 沢 聖 子

7番 平 瀬 敬 久

2番 高 橋 劍 二

4番 猪 俣 直 行

6番 松 尾 孝 彦

8番 加 藤 則 夫

欠席議員(なし)

説明のための出席者

管 理 者 石 川 清
会 計

小 田 茂 喜

管 理 者 川 野 敬 三

参 与 副 参 与

(予防課長 寺 田 精 一

事務取扱)

警防課長 中 村 政 美

坂 戸 金 子 和 宏

消防署長 村 田 昭 夫

監査委員

副管理者 藤 縄 善 朗

消 防 長 岡 部 久 志

次 長 高 橋 長 美

庶務課長 鹿 ノ 戸 和 弘

指令課長 小 澤 実

鶴ヶ島 中 村 元 治

消防署長

事務局職員出席者

書 記 木 村 宜 美

書 記 佐 藤 将 人

書 記 綿 貫 智 子

書 記 今 野 淳 一

書 記 野 口 功 介

◎開会及び開議の宣告

(午前10時00分)

○猪俣直行議長 議員の皆さん、おはようございます。

現在の出席議員、8人全員でございます。

よって、定足数に達しておりますので、ただいまから平成28年11月第4回坂戸・鶴ヶ島消防組合議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

◎議長の挨拶

(猪俣直行議長起立)

○猪俣直行議長 議事に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日、平成28年11月第4回坂戸・鶴ヶ島消防組合議会定例会を開会したところ、議員各位におかれましては公私ともにご多用の中をご出席いただき、ここに開会の運びとなりましたことに対し、厚く御礼を申し上げます。

また、説明者におかれましても、お忙しい中、石川管理者並びに藤縄副管理者をはじめ関係者のご出席をいただき、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

本日は、平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを含め3議案が提出されております。

本組合充実のために、何とぞ慎重ご審議の上、適切なるご議決とともに、議事の運営につきまして格別のご協力を賜りますようお願いを申し上げます、開会のご挨拶といたします。

(猪俣直行議長着席)

◎議事日程の報告

○猪俣直行議長 議事日程につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

直ちに本日の議事に入ります。

◎会議録署名議員の指名について

○猪俣直行議長 日程第1・「会議録署名議員の指名について」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において

1 番 弓 削 勇 人 議員

2 番 高 橋 剣 二 議員

の両議員を指名いたします。

◇

◎会期の決定について

○猪俣直行議長 日程第2・「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日1日としたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○猪俣直行議長 ご異議なしと認め、よって平成28年11月第4回坂戸・鶴ヶ島消防組合議会定例会の会期は、本日1日と決定いたしました。

◇

◎諸報告

専決処分の報告について(報告第1号)

現金出納検査の結果について(監査報告第4号)

閉会中の事務調査結果について

○猪俣直行議長 日程第3・「諸報告」をいたします。

はじめに、地方自治法第180条第2項の規定により、管理者から専決処分の報告がありましたので、お手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

次に、監査委員より平成28年6月分から9月分の現金出納検査の結果報告がありました。お手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

次に、閉会中の事務調査結果についてお手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

次に、今期定例会に議事説明者として出席通知のありました者の職・氏名並びに事務局職員の職・氏名を一覧表として配付しておきましたので、ご了承願います。

以上で諸報告を終わります。

◇

◎議案第19号～議案第21号の一括上程について

○猪俣直行議長 お諮りいたします。

日程第4・議案第19号・「平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について」から日程第6・議案第21号・「平成28年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計補正予算(第1号)を定める件」までを一括議題とすることにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

○猪俣直行議長 ご異議なしと認め、よってそのように決定いたしました。

◇

◎議案第19号～議案第21号の一括上程、説明

○猪俣直行議長 日程第4・議案第19号・「平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について」から日程第6・議案第21号・「平成28年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計補正予算(第1号)を定める件」までを一括議題といたします。

議案につきましては、お手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

提案理由の説明を求めます。

石川管理者。

(石川 清管理者登壇)

○石川 清管理者 おはようございます。ただいま議題となっております議案第19号から議案第21号までの3件につきまして、一括して提案理由の説明を申し上げます。

まず、議案第19号・「平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について」であります。予算現額26億6,359万6,000円に対しまして、歳入決算額は27億3,780万6,725円で、予算現額に対して7,421万725円、2.8%の増であります。また、歳出決算額は26億2,336万3,270円、予算現額に対して4,023万2,730円の減となり、歳入歳出差し引き1億1,444万3,455円の繰越金を生じました。

歳出の主なものを申し上げますと、議会費及び総務費につきましては一般経常的経費であります。

常備消防費につきましては、人件費のほか消防活動等に要した経常的経費であり、非常備消防費の坂戸市及び鶴ヶ島市消防団費につきましては、消防団活動に伴う報酬並びに運営費であります。

常備消防施設費につきましては、鶴ヶ島消防署一部防水工事、消防本部別棟屋上防水工事、坂戸消防署東分署給水管改修工事、坂戸救急2号車、指令車、消防救急デジタル無線共同システム一式導入等に係る経費であります。

坂戸市消防施設費、鶴ヶ島市消防施設費につきましては、それぞれ40立方メートル型耐震性貯水槽2基分の設置工事と消防団に消防救急デジタル無線機を整備したものであります。

次に、歳入の主なものを申し上げますと、88.3%を占める坂戸市及び鶴ヶ島市並びに西入間広域消防組合からの負担金をはじめ、高規格救急自動車の購入、消防救急デジタル無線共同システム一式導入及び消防救急デジタル無線機の購入並びに40立方メートル型耐震性貯水槽4基の新設工事事業に伴う組合債のほか、前年度繰越金、国庫支出金となっております。

以上、決算の概要を申し上げますが、平成27年度におきましても引き続き複雑多様化する災害への的確な対応と救急需要の対応及び広域消防応援体制をはじめとする消防防災体制の整備充実を図るため、消防施設等の整備を計画的に推進するとともに、経常的経費は極力節減に努め、限られた財源の有効活用に努力した次第であります。

本決算の内容につきましては、去る8月19日、消防本部会議室におきまして監査委員に審査をお願いし、いずれも計数的に正確であり、かつ内容も適正なものと認められましたので、その意見書並びに行政報告書を付して議会の認定をいただきたく、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、本案を提出した次第であります。

次に、議案第20号・「坂戸・鶴ヶ島消防組合監査委員の選任について」であります。当組合では坂戸・鶴ヶ島消

防組合同規約に基づき、2名の監査委員を設置し、行政及び財務に関する事務の執行について監査をしていただくことになっておりますが、識見を有する者のうちから選任されております村田昭夫監査委員が、平成28年11月13日付で任期満了となりますことから、その後任者について慎重に検討いたしました結果、田中浅男さんが最も適任であると認め、議会の同意を得たく、坂戸・鶴ヶ島消防組合同規約第12条第2項の規定により本案を提出した次第であります。

次に、議案第21号・「平成28年度坂戸・鶴ヶ島消防組合同一般会計補正予算(第1号)を定める件」であります。今回の補正は、歳出予算のみを補正しようとするものであります。

内容といたしましては、平成29年度の新採用職員分の消防服装購入に伴う消耗品費につきまして不足が生じたため、必要な措置をするものであります。

こちらは、本年度当初予算におきまして、平成29年度の新採用職員分として8名分を計上しておりましたが、昨年度中に早期退職者が生じたことから、その欠員分につきましての必要経費を計上するものであります。

歳出に見合う財源といたしましては、現行の予算の範囲内で調整をいたすものであります。

以上、議案第19号から議案第21号につきまして提案理由を申し上げましたが、何とぞ慎重ご審議の上、速やかなるご議決を賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

(石川 清管理者降壇)

○猪俣直行議長 以上をもって提案理由の説明は終わりました。

◇

◎議案第19号の質疑、討論、採決

○猪俣直行議長 これより議案について、単独質疑、討論、採決に入ります。

最初に、日程第4・議案第19号・「平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合同一般会計歳入歳出決算の認定について」に対する質疑に入ります。

6番・松尾孝彦議員。

○6番(松尾孝彦議員) 6番、松尾孝彦でございます。議案第19号・「平成27年度坂戸・鶴ヶ島消防組合同一般会計歳入歳出決算の認定について」行政報告書の中から質疑をさせていただきます。

29ページの救急事務についてのところで救急出場状況がありまして、この中の不搬送件数が994件で、前年より50件減少しております。何かこの要因は、例えば緊急性がない救急要請が減ったとか、その説明をお願いします。

○猪俣直行議長 中村警防課長、答弁。

○中村政美警防課長 お答え申し上げます。

不搬送件数が減少した理由についてでございますが、当組合の不搬送件数につきましては、平成26年度の1,044件に対しまして、平成27年度は994件と50件、4.8%の減少となっております。不搬送件数の主な内訳といたしましては、現場処置、死亡、拒否、誤報等ですが、その全てが減少し、減少率はほぼ一律でございました。よって、現段階ではその理由につきまして特定には至りませんが、日ごろから実施をしている適正利用に関する広報活動を継続してきたことにより、市民の方々にご理解、ご協力をいただき、結果的に真に救急車を必要としない救急要請が減少、不搬送件数の減少につながったものと考えております。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

6番・松尾孝彦議員。

○6番(松尾孝彦議員) 今おっしゃられた適正利用の具体的な取り組みについても説明をお願いいたします。

○猪俣直行議長 中村警防課長、答弁。

○中村政美警防課長 お答え申し上げます。

救急車の適正利用に向けた取り組みの具体的な内容についてでございますが、救急フェアにおいてはリーフレット等の配布とともに、当組合の救急出場状況の現状を説明し、救命講習会等では時間を設け、同様の現状を説明するなど直接市民に語りかける広報等を実施し、ご理解をいただいているところでございます。

また、今年の7月からは、消防庁から提供されました救急車利用リーフレット等を構成市の公共施設40施設、計800組のリーフレットを、広く市民の目に触れることができるよう常時配置をさせていただきました。さらに、9月9日には埼玉県が中心となり、県内消防機関や保健所と連携をいたしまして、県内主要58駅におきまして救急車適正利用に関するポケットティッシュ等を配布し、広く県民に呼びかけ、広報を実施したところでございます。当組合においても、同日、東武東上線坂戸駅におきまして、乗降客等を対象に1,500部の救急車適正利用に関するポケットティッシュ及びリーフレットを配布し、広報活動を実施したところでございます。今後におきましても、真に救急車を必要としている市民に対しまして、迅速かつ効果的な救急活動が行えるよう継続的に広報活動を実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

○6番(松尾孝彦議員) 了解しました。

○猪俣直行議長 ほかに。

7番・平瀬敬久議員。

○7番(平瀬敬久議員) 7番、平瀬敬久、3点お伺いいたします。

1点目は、決算書の24ページです。24ページ、備考欄の一番上です。自動体外式除細動器、この購入費199万8,000円について伺います。何台、どこに配置されたのか。そして、この更新の基準があれば、どういった基準なのか伺いたいと思います。

2点目、決算書さかのぼりまして7ページです。7ページの備考欄一番下、耐震性貯水槽新設工事費補助金269万3,000円、これについては具体的に行政報告書の36、37ページに記載されています。坂戸市で2カ所、石井地内と戸口地内に新設、そして鶴ヶ島市で2カ所、三ツ木地内と高倉地内に新設となっておりますけれども、この4カ所の選定理由について伺いたいと思います。

3点目、こちらまた行政報告書の40ページです。行政報告書40ページの下の方、指導要綱等に基づき新設された防火水槽、坂戸市が2カ所、鶴ヶ島市が2カ所設置場所を選定されていますけれども、このうち4カ所中1カ所は坂戸市末広町のベルクですけれども、ここは新しく新設された店舗かと思っております。ところが、これ以外の3カ所、工場が2カ所、病院が1カ所、ここについては既存の施設かと思っておりますので、既存の施設においてこれまで設置されていなかったのかということについて、なぜだったのかということをお伺いしたいと思います。

以上3点お伺いいたします。

○猪俣直行議長 中村警防課長、答弁。

○中村政美警防課長 平瀬議員さんのご質問につきまして、順次お答え申し上げます。

最初に、自動体外式除細動器の購入に関するご質問でございますが、当消防組合には計12台配備されております。その内訳を申し上げますと、坂戸消防署に5台、東分署に2台、西分署に2台、鶴ヶ島消防署に3台という配備状況でございます。このうち、今回は6台が更新時期となり、購入させていただき、坂戸消防署に2台、東分署に1台、西分署に1台、鶴ヶ島消防署に2台、おのおの更新配備をさせていただきました。更新基準につきましては、保証期限である5年を基準として、計画的に実施をしているところでございます。

次に、組合による耐震性貯水槽新設工事4カ所の選定理由についてでございますが、新設箇所の選定に当たっては、消防水利の基準に基づき、消防水利が未整備となっている空白域を最優先としております。そのほか老朽化した防火水槽の撤去、新設や、道路拡幅工事における支障となる防火水槽の撤去、新設などがございます。いずれにいたしましても、消防水利の充足率の向上を目的といたしまして、財政面、地域的なバランス面等を考慮しながら総合的に判断し、選定をしております。今回選定いたしました4カ所は、石井地内及び高倉地内につきましては、消防水利が空白域であったことから選定をし、戸口地内及び三ツ木地内につきましては、既設の防火水槽が老朽化し、修繕では不適であるため、撤去、新設に至ったものでございます。

次に、開発行為及び中高層建築物等に関する指導要綱に基づき設置されました防火水槽に関するご質問でございますが、平成27年度は開発等事業者にご理解、ご協力をいただきまして、40立方メートル級防火水槽を4基新設させていただきました。開発等による防火水槽新設につきましては、当指導要綱に定める条件に該当した場合に開発等事業者に対し設置について指導を行っておりますが、平成27年度中、当指導要綱の条件に該当となりました開発行為等の件数は17件ございました。そのうち、周囲の既設の防火水槽または規定の消火栓により敷地を全て包含できなかった4施設が対象となり、設置をしていただいたものであります。今回設置をしていただきました4施設のうち、株式会社ベルク以外の3施設の既存工場、病院の対象理由は、イーグル工業株式会社埼玉事業所及び関越病院につきましては、建物の増改築工事に伴い既存防火水槽が支障があったことから撤去、新設していただいたものであります。また、田島ルーフィング株式会社は、倉庫の増築に伴い設置対象となったものでございます。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

7番・平瀬敬久議員。

○7番(平瀬敬久議員) 今ご説明いただきました3点中2点についてはわかりました。

2項目については、もう少し改めて詳しく伺いたいと思います。この4カ所新設されました耐震性貯水槽新設工事のうち、1カ所石井地内のみ国庫補助金が使われています。なぜこの1カ所のみが国庫補助金が使われているのかということと、今回の新設によってどういった効果があったかということについて伺います。

以上です。

○猪俣直行議長 中村警防課長、答弁。

○中村政美警防課長 お答え申し上げます。

耐震性貯水槽新設工事における国庫補助金についてのご質問でございますが、国庫補助要望につきましては、毎年度主要な事業につきまして財政面の負担の軽減に努め、国庫補助要望の対象の有無について精査し、対象

となりました場合には積極的に要望を実施しているところでございます。そのような中、平成27年度の主要な事業で国庫補助金の対象となる事業は、消防防災施設整備費補助金の耐震性貯水槽4基分と、緊急消防援助隊設備整備費補助金の高規格救急自動車購入1台分でございますので、これらを全て要望させていただきました。

総務省におきましては、全国の要望の中から限られた予算の範囲内で精査をし、結果として当消防組合におきましては、耐震性貯水槽1基分と高規格救急自動車1台分が交付決定となったものでございます。また、今回の4基の耐震性貯水槽設置によりまして、平成27年度末現在で消防水利の充足率は81.2%となったものでございます。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

7番・平瀬敬久議員。

○7番(平瀬敬久議員) ただいま国庫補助金についてはご説明いただきました。今のご説明の中で、消防水利の充足率は81.2%というご説明がありました。100%に達していませんけれども、これをどのように捉えて、今後どのように進めていくのかという点についてお伺いします。

○猪俣直行議長 中村警防課長、答弁。

○中村政美警防課長 お答え申し上げます。

消防水利の充足率につきましては、平成27年度末現在、基準数1,379基に対しまして整備数は1,120基となり、充足率は81.2%になったところでございます。この充足率81.2%は、当組合としては非常に高い数字と捉え、消防力の強化につながっているものと考えているところでございます。今後におきましても、さらなる消防力の充実強化が図れるよう充足率100%を目指し、継続事業として計画的に実施をしていく予定でございます。

次に、今後の進め方でございますが、充足率が高くなればなるほど消防水利の空白域が減少し、用地確保に苦慮しているのが実情でございます。今後は、これまで4基ずつ建設しておりました耐震性貯水槽は、充足率が8割を超えたこと、用地の確保の問題、財政面、さらに国庫補助要望の零細補助などにも配慮しながら、さらなる充足率の向上に向けて適切な方法を検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

○7番(平瀬敬久議員) はい。

○猪俣直行議長 ほかに。

(「なし」の声)

○猪俣直行議長 以上をもちまして、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

(「なし」の声)

○猪俣直行議長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより議案第19号を採決いたします。

本案は原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○猪俣直行議長 ご異議なしと認め、よって本案は原案のとおり認定されました。

◇

◎議案第20号の質疑、討論、採決

○猪俣直行議長 次に、日程第5・議案第20号・「坂戸・鶴ヶ島消防組合監査委員の選任について」に対する質疑に入ります。

(「なし」の声)

○猪俣直行議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

(「なし」の声)

○猪俣直行議長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより議案第20号を採決いたします。

本案は原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○猪俣直行議長 ご異議なしと認め、よって本案は同意することに決定いたしました。

◇

◎議案第21号の質疑、討論、採決

○猪俣直行議長 次に、日程第6・議案第21号・「平成28年度坂戸・鶴ヶ島消防組合一般会計補正予算(第1号)を定める件」に対する質疑に入ります。

(「なし」の声)

○猪俣直行議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

(「なし」の声)

○猪俣直行議長 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより議案第21号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

○猪俣直行議長 ご異議なしと認め、よって本案は原案のとおり可決されました。

◇

◎一般質問

○猪俣直行議長 日程第7・「一般質問」を行います。

通告者は1名であります。

順次発言を許可します。

なお、質問時間については、議会運営についての申し合わせ事項により、執行部の答弁を含め60分以内となっておりますので、ご注意願います。

3番・内野嘉広議員。

(3番「内野嘉広議員」登壇)

○3番(内野嘉広議員) 3番、内野嘉広です。議長の許可をいただきましたので、これより私の一般質問をさせていただきます。

改正道路交通法によるこれからの消防組合職員及び消防団員への影響と対応について。平成27年6月11日に衆議院本会議で道路交通法の一部改正案が可決成立し、6月17日に公布されました。この改正では、準中型自動車免許が車両総重量3.5トン以上7.5トン未満の車両に限定した新区分として新設されております。現行の免許制度では、普通免許で車両総重量5トン未満の車両までの運転が可能でありましたが、この改正により、今後新たに自動車免許を取得する消防組合職員や消防団員は、普通免許では3.5トン未満の消防車両しか運転できないこととなります。消防車両は3.5トン以上のものが多く、この改正により、今後大きな影響が出てくるものと想定されます。特に消防団にとっては、ただでさえ若い新たな消防団員の勧誘が難しくなっている中で、さらに厳しい状況になっていくことが懸念されます。こうしたことを踏まえて、準中型免許の新設等に係る改正道路交通法が平成29年3月12日に施行になることから、これからの消防組合職員及び消防団員への影響と対応について、以下質問いたします。

- 1、現在所有している消防組合及び消防団車両について。
- 2、改正道路交通法による消防組合職員及び消防団員への影響について。
- 3、今後の対応策について。

以上、1回目の質問といたします。よろしくご答弁お願いいたします。

(3番「内野嘉広議員」降壇)

○猪俣直行議長 岡部消防長、答弁。

(岡部久志消防長登壇)

○岡部久志消防長 お答え申し上げます。

はじめに、改正道路交通法によるこれからの消防職員及び消防団員への影響についての、現在所有している消防組合及び消防団車両についてでございますが、消防署の災害活動対応車両の所有台数につきましては、消防ポンプ車をはじめ救急車等23台でございます。内訳といたしましては、総重量3.5トン未満が救急車及び指揮車等で10台、3.5トン以上7.5トン未満は消防ポンプ車等3台、7.5トン以上につきましては、はしご車、水槽車、救助工作車等で10台という状況でございます。

また、消防団の所有台数につきましては、坂戸市消防団が17台、鶴ヶ島市消防団が4台、総台数は21台でございます。内訳といたしましては、総重量3.5トン以上7.5トン未満が、坂戸市消防団が17台、鶴ヶ島市消防団3台で、計20台。また、7.5トン以上の水槽付消防ポンプ車が、鶴ヶ島市消防団第1分団の1台となっている状況でございます。

次に、改正道路交通法による消防組合職員及び消防団員への影響についてでございますが、消防署におきましては採用後4年が経過いたしますと緊急自動車を運転するようになりますことから、事前に多くの職員が大型自動車免許の取得をしている状況でございます。このことから、道路交通法の改正がありましても、特段影響はないも

のと考えております。

また、消防団につきましては、5トン未満の消防ポンプ自動車が主流でありますことから、今回の法令改正により、平成29年3月12日以降に普通自動車免許を取得した方につきましては準中型自動車免許が必要となり、今後影響するものと考えております。

次に、今後の対応策についてでございますが、現在消防署では大型自動車免許取得に際し、自己啓発事業の一環として一部補助を行っている状況でございます。今後におきましても、この制度を利用しまして、継続的に機関員の育成を図っていきたくと考えております。

また、消防団におきましては、今後両市消防団長等の意見を聞きながら、必要に応じ構成市とも調整を図っていきたくと考えております。

以上でございます。

(岡部久志消防長降壇)

○猪俣直行議長 よろしいですか。

3番・内野嘉広議員。

○3番(内野嘉広議員) それでは、順次再質問をさせていただきます。

先ほどのご答弁でもありましたけれども、平成19年6月から施行されております現行の道路交通法において、普通免許では車両総重量5トン未満の車両までということになっております。先ほど鶴ヶ島市消防団のほうで1台、そこから5トン以上の車両があるというようなことでありましたけれども、現状のそういった消防団における影響について、どのような状況であるのかということでお聞きしたいと思います。

○猪俣直行議長 岡部消防長、答弁。

○岡部久志消防長 お答え申し上げます。

現状の消防団における影響についてでございますが、鶴ヶ島市消防団第1分団の消防車両が総重量7.5トンを超えておりますことから、中型自動車免許が必要となっている状況でございます。現在第1分団は、12名中2名が5トン未満運転可能である普通自動車免許取得者であることから、今後消防車両を運転するようになりますと支障が生じてくる状況でございます。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

3番・内野嘉広議員。

○3番(内野嘉広議員) 引き続き再質問をいたします。

こうした改正道路交通法における影響は、本消防組合のみならず近隣の自治体、さらには全国的にも影響が出てくるものと考えられますけれども、他団体における今後の対応の事例等、確認できているもの等がありましたらお聞きしたいと思います。

○猪俣直行議長 岡部消防長、答弁。

○岡部久志消防長 お答え申し上げます。

他団体における事例等についてでございますが、川越市、東松山市、川島町、毛呂山町、越生町、鳩山町の消防団を担当しております近隣消防本部に問い合わせたところ、現在のところ法改正による取り組みについては検討中であると伺っております。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

3番・内野嘉広議員。

○3番(内野嘉広議員) 平成19年6月に改正されました現行の道路交通法に際しては、その影響を加味して免許取得費用の補助ですとか、新たに購入する消防車両の小型化などの対策を行ってきた自治体もあるというふう聞いております。そういった事例を含めて、今後の対応についてどのように考えられるかについてお聞きしたいと思います。

○猪俣直行議長 岡部消防長、答弁。

○岡部久志消防長 お答え申し上げます。

運転免許証取得費用の補助や、新たに購入する消防車両の小型化についての考えについてでございますが、補助につきましては、今後県内外及び近隣市町との事例を踏まえながら検討していきたいと考えております。

また、更新時に車両を小さくすることにつきましても、消防団の意向等もありますことから、今後消防団と調整を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

3番・内野嘉広議員。

○3番(内野嘉広議員) 改正道路交通法が平成29年3月12日に施行予定というふう聞いております。今後の対応として、いつごろをめどに対応を考えておられるかについてお聞きいたします。

○猪俣直行議長 岡部消防長、答弁。

○岡部久志消防長 お答え申し上げます。

いつぐらいをめどに検討を考えているかということでございますが、先般今後の取り組みにつきまして埼玉県へお問い合わせをしたところ、今年県では全国都道府県消防防災・危機管理部局長会の県会長として、国に対し消防自動車限定免許の新設や消防団の運転免許取得経費に対する助成制度の創設について要望を行っているとの回答を得たところでございます。これらを踏まえ、消防組合といたしましては、今後も国及び県の動向を注視しながら、消防団の活動に支障を来すことのないよう坂戸市消防団及び鶴ヶ島市消防団並びに構成市とも調整を図り、検討を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。

以上でございます。

○猪俣直行議長 よろしいですか。

3番・内野嘉広議員。

○3番(内野嘉広議員) 対応に当たりましては、消防団の意見をよくよく酌み取っていただきまして、今後とも消防団員の勧誘等に支障が出ないようご配慮いただきますようお願いいたします。一般質問を終了させていただきます。丁寧なご答弁ありがとうございました。

○猪俣直行議長 以上で一般質問を終了いたします。

————— ◇ —————

◎閉議の宣告

○猪俣直行議長 以上をもちまして、今期定例会の議事は全て終了いたしました。

◇

◎議長の挨拶

(猪俣直行議長起立)

○猪俣直行議長 閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様のご理解とご協力を賜り、閉会の運びとなりましたことに深く感謝を申し上げます。

日ごと秋の深まりとともに、朝夕肌寒さを感じる季節となりました。議員各位におかれましては、時節柄ご多用とは存じますが、くれぐれも健康にご留意いただきまして、今後とも地域の進展、消防行政の推進のために、なお一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げまして、閉会のご挨拶といたします。

ありがとうございました。

(猪俣直行議長着席)

◇

◎管理者の挨拶

○猪俣直行議長 石川管理者から挨拶のため発言を求められておりますので、これを許可いたします。

石川管理者。

(石川 清管理者登壇)

○石川 清管理者 議員の皆様におかれましては、大変ご多用の中、全員の方のご出席を賜りまして、提出議案3件につきまして原案のとおり認定、同意及び可決をいただき、心から感謝を申し上げる次第であります。

7月議会定例会以降の各種事業並びに火災等の概要につきましてご報告申し上げます。

はじめに、各種事業についてであります。8月8日から10日の3日間、消防本部におきまして、坂戸市及び鶴ヶ島市内の小中学校の教員等を対象に、応急手当に関する知識・技術の普及を図るとともに、学校内での不測の事態に対処するため、応急手当普及員講習会を開催し、23名の先生方に受講していただきました。

8月21日、鶴ヶ島市立藤小学校で実施されました「鶴ヶ島市防災訓練」及び9月4日、坂戸市立桜小学校で実施されました「坂戸市民総合防災訓練」の両会場におきまして救急フェアを同時開催し、心肺蘇生法やAEDの取り扱い等、応急手当普及活動を行い、多くの市民に体験していただくとともに、住宅用火災警報器の設置普及活動等、火災予防運動を展開いたしました。

10月6日、7日には、今年度2回目の防火管理者資格取得新規講習会を開催いたしまして、各事業所から27名の方々が受講し、防火管理に関する知識を修得していただきました。

10月27日には、職員採用第1次試験に合格いたしました22名を対象に第2次試験を実施いたしました。

11月6日には、坂戸市民総合運動公園におきまして、坂戸・鶴ヶ島消防組合特別点検を実施いたしました。当日は、関係者ご列席のもと、消防職員、消防団員約350名、消防車両26台が集結し、人員、服装、規律の点検をはじめ

めとする各種の点検を行いました。議員皆様におかれましては、早朝よりご臨席を賜りご指導いただきましたことに、改めて深く感謝を申し上げます。

11月9日から15日までの1週間、秋季全国火災予防運動の一環として、消防署、消防団員によります市内巡回広報を実施しております。

次に、本年1月から10月までの火災件数は33件で、前年同期と比較いたしますと23件の減となっており、このうち建物火災は15件であります。

次に、同期間の救急出場件数は6,130件で、前年同期と比較いたしますと318件の増となっております。

また、今年は多くの台風が8月、9月に日本に上陸し、岩手県をはじめとする各地に甚大なる被害をもたらしたところであります。犠牲者のご冥福とともに、一日も早い復興・復旧をお祈りいたします。

幸い当管内では大きな被害はございませんでしたが、今後発生する自然災害等に的確に対応し、住民の負託に応えられるよう万全を期してまいり所存でありますので、今後とも議員皆様には変わらざるご支援、ご指導をお願い申し上げます。

議員の皆様方のご理解とご協力をいただき、本日の定例会が滞りなく終了できましたことに対しまして心から御礼を申し上げますとともに、いよいよ寒さも厳しさを増してまいります。議員皆様にはくれぐれも健康に十分ご留意をいたたくとともに、ますますのご活躍をご祈念申し上げ、挨拶いたします。

ありがとうございました。

(石川 清管理者降壇)

◇

◎閉会の宣告

(午前10時48分)

○猪俣直行議長 これをもちまして、平成28年11月第4回坂戸・鶴ヶ島消防組合議会定例会の議事を閉じ、閉会いたします。